



〈君羊馬県〉
みなかみ町

日本百名山の絶景 谷川岳を訪ねて



新潟県と群馬県の県境にまたがる「三国山脈」の中でも登山者に人気の「日本百名山」の谷川岳(1977m)の紅葉と魅力を訪ねた。山頂部が二つあり、まるで猫の目のように見える「双耳峰(そうじほう)」であることから、それを「トマの耳」と呼ぶ。谷川岳は初心者でもその絶景を楽しむことができる。山頂を中心に、近年家族連れを呼び寄る。10月15日(金)午前7時に安藤プロパン社を出発。関越自動車道で水上ICで降りて温泉街を通



▶ 谷川岳山頂(1977m)



▶ 雨電気バス

り谷川岳ロープウェイの立体駐車場へ。午前9時30分発の1ノ倉沢行き電気バスに乗り込む。9時15分位に到着した。既に定員8名が待つ。10時30分の電気バスに乗った。4年に群馬大学工学部と桐生のベンチャー企業「シンク」が共同事業で誕生。バッテリー部分だけ120万円。車輪は左右で8輪。最高速度は19kmで走る。ロープウェイの土合ロープウェイから1ノ倉沢までの約35kmを2台の電気自動車(1日7往復している。片道



▶ 1ノ倉沢 岩壁

約20分。運営は1ノ倉沢道路適正利用推進協議会(みなかみ町)。料金は無料だが、ガソリンが必要。谷川岳エコーラインズ推進協議会のインタープリターが走行中マイクを片手に「倉沢道路にまつわるお話をしてくる。バスをのドライブは東武鉄道の「ドライブ」は国道291号線で10年以上前までマイカは歩行者専用道路になつていて、電気バスにゆられて1ノ倉沢に到着。目の前には見事な岩壁の絶景が広がる。ロッククライミング



▶ 谷川岳ロープウェイ

の聖地として知られる。紅葉は電訪バスには乗らずに徒歩で戻る。スナグの中を歩く。ハイキングだ。谷川岳ロープウェイに乗って標高1,319mの天神平駅へ10分到着。そこは「天神平スキー場」パウダースノーのスキー場として5月まで楽しめる。登山者はここから山頂を目指す。谷川岳で最も一般的となつている。ロープウェイ天神平駅から観光ペアリフトまで上り、展望台から谷川岳山頂と三国山脈を望む。パノラマを味わうことができる。午後1時頃には谷川岳には新潟県側から白い雲が波のように三



▶ ペアリフトと天神平スキー場

谷川岳は初級者から上級者向けまでの変化を富む登山コースを有し、土合駅へJR上越線からの谷川岳へのアクセスが良く、新潟から電車(徒歩)でもマイカーでも日帰りできる手軽さ。谷川岳のように初心者でも気軽に楽しめる百名山はあまり多くはないと言われる。アクサスの良さと温泉を含む施設の充実。人気が出る訳だ。



▶ 谷川岳 絶景スポット

来て、谷川岳の山頂には雲がかかっていた。紅葉にはまだ早い。11月頃になると、色づきようだが、反対側の展望台に行く赤城山や遠くは富士山までも望むことが出来る。山の天気は急変するといわれているが、谷川岳には雲が消えはつきり、頂上が見えられた。多くの登山者や観光客からは歓喜の声が聞こえてきた。

